

1 学年向け医学講演会（10 月 17 日）



三國 貴康 先生（新潟大学脳研究所 細胞病態学分野教授）

「記憶を分子で理解する ～脳でのゲノム編集技術の開発と応用～」という演題でのご講演でした。生徒たちの関心の高い「記憶」をトピックとして、最先端の研究内容についてお話をいただきました。また、講演の最後には進路・職業選択にも触れていただきました。

生徒のコメント：「短期記憶と長期記憶についてのお話を聴き、特に長期記憶は感情や興味、状況に左右されると知りました。また、記憶の定着に重要なのは睡眠であるというお話は、とても印象に残りました」、「様々なところで『ゲノム編集』というワードを聞くことがありましたが、実際にはどのような内容を指すものなのかよく知りませんでした。今回の講演を聴いて、脳の記憶の基本的なことから最先端の詳しい内容まで知ることができたのでよかったです」



（質疑応答のあとも
三國先生に質問したい
と列を作る生徒たち）